

## 研究の実施に関する情報公開

(受付番号 9 )

岡山労災病院では、岡山労災病院倫理審査委員会の承認を得て下記研究を実施いたします。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2014年9月29日

研究開発分野 : 厚生労働省労災疾病臨床研究事業費補助金

研究開発テーマ : 胸膜中皮腫の的確な診断方法に関する研究—鑑別診断方法と症例収集—

### ■ 研究責任者

副院長 岸本 卓巳

### ■ 研究期間

承認後～平成29年3月31日

### ■ 対象者

平成12年4月から岡山労災病院及にて「胸膜中皮腫」あるいは「中皮腫と鑑別を要する疾患」（肺がん、胸膜炎など）であると診断された症例及び平成15年から胸膜中皮腫で死亡し、遺族および担当病院から研究への同意が得られた方。

### ■ 目的と意義

本研究では、鑑別の難しい「胸膜中皮腫」あるいは「中皮腫と鑑別を要する疾患」（肺がん、胸膜炎など）から鑑別点を見出し、胸部CT画像の相違、病理組織について検討を行い他疾患との鑑別を容易にする事を目的とします。

### ■ 方法

まず、各医療機関のカルテから、「年齢」、「性別」、「生年月日」、「既往歴」、「職歴」、「喫煙歴」、「胸膜プラークの有無」、「病理番号」、「胸部CT、CR画像」、「病理組織学的診断」、「病理組織学的所見」の情報のみを抽出し、この情報に基づいて対象とする標本を決定します。各医療機関では個人情報管理者をおき、個人のカルテ等の情報ソースと「匿名化番号」の対応表は、個人情報管理者が厳重に管理し、研究責任者、研究分担者には渡しません。この対応表は、施錠可能なキャビネット等で保管します。

病理標本の提供にあたっては、個人情報管理者は技術職員に対して「病理標本番号」のみの情報を与え、これにもとづいて当該パラフィンブロックの薄切、染色を行います。完成した標本には、患者名の代わりに「匿名化番号」のみが記載され、提供されます。

また、本研究においては、中皮腫の鑑別診断について、多くの病理医、放射線科医、臨

床医などの合議が必要であることから、最低限の患者情報は、インターネット通信によって情報交換されますが、SSL技術を用いた暗号化通信を行い、通信時のデータは保護されます。

これらによって、鑑別が難しい中皮腫の正確な診断を行うことが可能か検討を行います。

※ この研究は、北海道中央労災病院、広島大学、川崎医科大学との共同研究です。資料やデータの一部が、北海道中央労災病院、広島大学、川崎医科大学へ提供されて解析されます。

※ 研究に試料を提供したくない場合は下記窓口にお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生じることはありません。

※ 当研究室が保有する個人情報の開示請求は下記窓口にお申し出ください。

#### ■ 本研究に関する問い合わせの窓口の連絡先

岡山労災病院

副院長 岸本卓巳

〒702-8055

岡山市南区築港緑町 1-10-25

電話番号：086-262-9166

E-mail：nakisimt@okayamaH.johas.go.jp